



## 久遠塾

君の世界に芽生えるものは  
vol. 10



かたおか あすか  
片岡 明日香

平成30年、久遠塾誕生。その年に入学した白糠高校生。生徒も久遠塾も、もうすぐ3年生になります。

### 心の中を言葉にする

塾に来ている生徒の中には、大学進学を目指す生徒もいます。試験までの間、その一人一人とじっくり話をする時間を定期的に設けることにしました。（要望があれば、専門学校や就職を目指す生徒とも行います！）そうすることで、その大学を選んだ理由や夢への思い、将来どのような人物になりたいか、どのような仕事をしたいか、自分の心からの言葉で表現でき

るようになると思います。

私は話を聴いて、聴いたことを紙に書いて、気になったことを質問して、その答えをまた書いて、という係です。話を聴いていると、初めて知るその生徒の一面があります。物事の見方や考え方に、ハッとさせられることがあります。学ぶことも多く、すごく勉強になります。

「とにかく人の役に立ちたい。周りの人が楽しそうだと幸せになる」と言います。人の役に立つ、相手が楽しくなるような他の職業を挙げてみると、それではない、と話してくれます。彼女の中で、揺るぎない情熱と思いがあるのです。

別の生徒が話してくれました。「これからはAI（人工知能）が活躍する時代になり、生活は便利になるだろうけど、人との関わりに悩む人が多くなる気がする。それを救ったり解決に導いたりすることができると、やっぱり人の力だと思えるから、人の心に寄り添える仕事がしたい」

### みんなが「ぶんのいち」

久遠塾では、令和2年度から新たなゼミを始めます。その名も【ぶんのいちゼミ】。

今年度、高校生対象の「志らゼミ」を実施してきました。しかし、高校生と高校の先生方・塾スタッフが、年齢や立場に関係なく意見を言い、考えを認め合う雰囲気がついてもすてきで…。これはぜひ町民の方にも加わっていただきたい、という思いが湧いてきました。そこで、大人も高校生も、とにかく白糠にいるみんなでいろいろなことを考えて、それぞれの気持ちや意見を交わし合う場として、新しいゼミの開催を決めました。2月29日現在の人口は7689人。その一人一人が白糠町の一員であって、白糠町をつかっていくのであって、自分ごととして、さまざまなテーマについて考えられたら…。という思いで名付けたのが「ぶんのいち」。つまり全員が7689分の1で、この「1」があなたなのです。



2月14日に開催した「志らゼミ」。自分トリセツを作り、お互いのトリセツに付箋でメッセージやコメントを書き合いました。

#### 今後のゼミ（会場・久遠塾 公民館3階）

##### ●美文字講座【今年度の意気込み】

4月22日(水) ①18:15~19:15 ②19:30~20:30

##### ●ぶんのいちゼミ【中学校の教科を一つ減らすなら…?】

4月27日(月) 18:15~19:15

くおんじゅく

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00 (平日)

メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

ブログ <https://kuon-jukulocalinfojp.amebaownd.com>